2025 年 5 月 14 日

NTT コミュニケーションズ株式会社

株式会社網屋

NTT Com と網屋の資本業務提携について

NTT コミュニケーションズ株式会社(以下 NTT Com)と株式会社網屋（以下 網屋）は、本日資本業務提携に関する契約を締結しました。

本提携により、NTT Com が提供するセキュリティソリューションにおいて、網屋の純国産 SIEM※1 製品「ALog※2」を活用したサービスの提供に向けた連携を図ります。

両社の連携により、これまで対策が難しかった IoT・OT※3 システムなどの環境でも、ニーズに合わせてお客さまのセキュリティ対策の強化が可能となります。

1.背景・目的

近年、サイバー攻撃の件数が増加するとともに攻撃手法が巧妙化する中で、複数のセキュリティ機能を 1 つにまとめて提供する UTM※4 や、不審な振る舞いを検知する EDR※5 などのソリューションの普及が進んでいます。しかし、サイバー攻撃の手法は日々高度化しており、従来のソリューションだけでは検知できない攻撃への対策や重要インフラや製造現場などで用いられる IoT・OT システムへの対策、AI 活用における各システムとの AI 間通信においてセキュリティ対策などが必要とされています。

しかし、企業にとってはセキュリティ対策の導入に係るコストや専門人材の不足、設定変更時のリードタイムなどが課題となっており、安全であるだけでなく、より低コストでスピーディーな対策を実現するサービスが求められています。

そこで、NTT Com のネットワークおよびセキュリティサービスと網屋の ALog を組み合わせることで、お客さまのネットワークログから普段と異なる異常な振る舞いを検知する機能を実現し、特別な機器やシステムの導入が不要で、幅広いニーズに応えることが可能なセキュリティ一体型のネットワークサービスの提供をめざします。

2. 提携の概要

- NTT Com のセキュリティ一体型ネットワークサービス「docomo business RINK® 」（以下 RINK）において、ログの収集と分析で高い技術力と実績を持つ網屋の ALog を活用し、ネットワークログ解析による普段と異なる異常な振る舞いの検知を行うサービスを提供します。
- NTT Com が提供する総合セキュリティサービスである「WideAngle※6」での、「ALog」の活用をめざします。

- 両社のお客さまに対して、それぞれの強みである経営資源やノウハウを持ち寄り、課題解決につながる提案を共同で実施します。

＜資本業務提携のイメージ＞

3.各社のコメント

NTT コミュニケーションズ株式会社

執行役員　プラットフォームサービス本部　マネージド&セキュリティサービス部長　長瀬　健吾

　この度の株式会社網屋との資本業務提携により、当社の提供するネットワークサービスやセキュリティサービスに、網屋のログマネジメントに関する高い技術力を組み込むことで、大企業から中堅中小企業まで幅広いお客さまが、IoT・OT システムや AI を含むあらゆる環境のセキュリティ対策を手軽に利用できると確信しています。今後も、両社の強みを活かしたネットワークおよびセキュリティ融合のサービスを提供していくことで、お客さまの安定的な事業運営に貢献し、ドコモグループブランドスローガンである「つなごう。驚きを。幸せを。」の実現に向けて挑戦してまいります。

株式会社網屋

代表取締役社長　石田 晃太

　網屋は、セキュリティ製品やサービスを自ら開発・製造・販売するセキュリティの国産総合プロバイダです。当社の純国産 SIEM 製品『ALog』と NTT コミュニケーションズのネットワークサービスを組み合わせることで、「高水準のセキュリティを誰でも享受できる社会を創りたい」の実現につながると考えております。今後も両社の強みを活かした協業を推進し、両社のセキュリティビジネスの拡大を図ってまいります。

NTT コミュニケーションズの概要

(1)会社名：NTT コミュニケーションズ株式会社

(2)所在地：東京都千代田区大手町 2-3-1　大手町プレイスウエストタワー

(3)設　立：1999 年 7 月

(4)代表者：代表取締役社長 社長執行役員 小島 克重

(5)事業内容：NTT コミュニケーションズ株式会社は 1999 年に設立され、通信事業者ならではの高品質なインフラと技術を活かし、ネットワーク、クラウド、コロケーション、アプリケーション、セキュリティなどの多岐にわたる ICT サービスを展開しています。2022 年よりドコモグループにおける法人事業の中核を担う企業となり、社会・産業のグローバルレベルでの構造変革や、新たなワークスタイルの創出、地域社会の DX 支援などの価値を提供しています。
詳細は https://www.ntt.com/をご確認ください。

網屋の概要
(1)会社名：株式会社網屋
(2)所在地：東京都中央区日本橋浜町 3-3-2
(3)設　立：1996 年 12 月
(4)代表者：代表取締役社長 石田 晃太
(5)事業内容：
1996 年、ネットワークシステムにおけるインフラ設計構築事業として設立し、1997 年よりセキュリティ事業を開始。以降、サイバーセキュリティ製品/サービスの開発・製造・販売と ICT インフラのクラウドサービスの開発・製造・販売を行うことにより事業を拡大し、2021 年に東京証券取引所マザーズ市場（現グロース市場）に株式を上場。主力製品である純国産 SIEM『ALog』は、国産 SIEM 市場において No.1 の地位を確立しており、サーバーアクセスログ管理市場でも 17 年連続で国内シェア No.1 を獲得。現在では多くのお客さま（契約数 6000 以上）にご利用いただいております。
詳細は https://www.amiya.co.jp/をご確認ください。

※1：SIEM とは、「Security Information and Event Management」を略したもので、ファイアウォールや IDS／IPS、プロキシーなどから出力されるログやデータを一元的に集約し、それらのデータを組み合わせて相関分析を行うことで、ネットワークの監視やサイバー攻撃やマルウェア感染などのインシデントを検知することを目的とした仕組みです。
※2：「ALog」とは、網屋社が提供するさまざまな IT システムの記録を自動で集約・分析する国産の SIEM 製品です。
https://www.amiya.co.jp/alog/
※3：IoT（Internet of Things）とは、あらゆるモノをインターネット（あるいはネットワーク）に接続する技術であり、日本語ではモノのインターネットと訳されます。OT(Operational Technology)とは、工場や発電所などに使われる、物理的なシステムや設備を最適に動かすための制御・運用技術の総称であり、具体的には、製品や部品の製造を行うロボットや、工場でのセンサーによる温度監視などの用途があります。
※4：UTM とは、「Unified Threat Management」を略したもので、日本語では「統合脅威管理」あるいは「統合型脅威管理」と呼ばれており、ファイアウォール、アンチウイルス、アンチスパム、Web（URL）フィルタリング、IDS（Intrusion Detection System／不正侵入検知システム）、IPS（Intrusion Prevention System／不正侵入防御システム）といったさまざまなセキュリティ

機能を 1 つに集約したサービスです。

※5：EDR とは、「Endpoint Detection and Response」を略したもので、エンドポイントセキュリティを担う仕組みの 1 つです。エンドポイントとは PC やスマートフォン、サーバーなどのデバイスを指します。これらのデバイスの状況を監視し、不審な振る舞いの検知や対処をするためのソリューションです。

※6：「WideAngle」とは、NTT コミュニケーションズが提供する総合リスクマネジメントサービスで、オンプレミス、クラウド、ハイブリッドなど、さまざまな ICT 環境に対し、セキュリティオペレーションセンター（SOC）による専門家が総合的なセキュリティソリューションを提供します。
https://www.ntt.com/business/services/security/security-management/wideangle.html